（別紙4-1）

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0195100037		
法人名	株式会社　日本キャリアサービス		
事業所名	グループホーム　だんらん紋別落石館		
所在地	北海道紋別市落石町３丁目29番11号		
自己評価作成日	令和5年1月26日	評価結果市町村受理日	評価機関　記入

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	u.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0195100037-00&Ser

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	有限会社　NAVIRE
所在地	北海道北見市とん田東町453-3
訪問調査日	令和5年3月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

当ホームでは、入居者様中心のケアを大切にし、その日その時入居者様個人の訴えや状態に合わせ可能な限り柔軟に対応する様努めています。また、ご本人や家族様とケアカンファレンスなどを通じて入居者様の生活が平穏なものになるよう取り組んでいます。しかし、令和3年から始まった新型コロナウイルス感染防止対策の影響で社会的（地元学生の受入施設実習等）・地域的（町内会行事等）繋がりが希薄となっているのが現状ですが、感染状況を見極め一時中止していた焼肉レクリエーションやドライブ、花壇整備などを復活させ少しずつ従来の生活スタイルに戻る努力をしています。また、令和3年11月からICTを活用（ipad)し入居者様の状態・情報を一元化し、スタッフ全員が情報を共有し入居者様に即したケアを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

グループホームだんらん紋別落石館は、住宅街に立地し2階建の2ユニットで平成20年8月に開設し、法人は紋別地区に2件のグループホームを有しています。地域交流はコロナ禍でほとんど出来ていませんが、看護学院生の実習の受入れを行い利用者と楽しい交流が実現しています。家族の方が停電の際に発電機を持ってきて普及まで維持してくれたり、家族からの差し入れ、除雪機の寄付等の支援等があり地域住民や利用者家族の交流・協力を得ています。開設時に職員で作り上げた「いつも笑顔が はじける 信頼のわが家 だんらん」理念の基、日々の暮らしの中で、利用者一人ひとりの残存機能に合わせた役割や個々の課題を利用者への言葉かけを工夫し生活する上での家事全般や畑仕事、花の世話を行ない、生きがいや意欲に繋がるように努めています。また、ホーム長や管理者は利用者の気持ちを優先する実践がなされ、ゆったりと利用者に合わせた柔軟な支援と本人本位の介護になるように日々の利用者の変化に合わせた支援に心掛けるように職員に指導しています。職員は個々のモチベーションを上げるため、毎年、年度始めに自己の目標を設定し、個々の利用者の情況に沿った介護の提供を試みています。

Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38）		1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
		○	3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49）		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
		○	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19）		1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20）		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度
			3. たまに
		○	4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4）		1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
		○	3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12）		1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
		○	3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない